

平成 27 年度
自己点検・自己評価

学校法人 未来学園
前橋医療福祉専門学校



1. 学校の教育目標

未来学園は医療、福祉分野に必要な専門的知識、技術、態度を養い、実践力を身につけると共に、人間愛を基礎とし、全人的なかかわりや援助、ケアが実践できる医療、福祉従事者を養成する。

教育方針に“Learning Together Thinking Together”を掲げ、教職員一同、保健、医療、福祉の発展のために学生と共に学び、共に考える教育を実践する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

◇授業・実習内容の充実

- ・初年次学生への対応
- ・国家試験、各種検定対策の強化
- ・授業評価アンケート・授業参観の実施
- ・アクティブラーニングの導入

◇学生サービスの充実

- ・退学防止への取り組み
- ・グローバル化への対応
- ・学生用駐車場の確保

◇ボランティア教育の強化

- ・ボランティア活動への積極的な支援

◇学園行事の実施

- ・新入生懇親会
- ・研修旅行
- ・学園祭
- ・国家試験決起大会 等

◇教育用施設・設備の拡充

- ・教育用機器・教材・図書の整備と拡充
- ・教育用機器・備品の補修、更新

◇広報・募集活動

- ・オープンキャンパスの内容改善
- ・インターネットやSNSを活用した広報展開

◇学内事務システムの整備・運用

- ・学校事務システムの適正な運用

◇教職員研修の実施

- ・教員に対する教育研修の実施

- ・個人情報保護法やセクシャルハラスメント・パワーハラスメント防止についての研修の実施

◇地域貢献

- ・環境問題への取り組み
- ・関係団体への施設・設備の提供

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

① 課題

それぞれの業界の将来像やニーズを把握し、進歩する医療福祉に合わせた各学科の育成人材像を明確にする。

② 今後の改善方策

将来的に医療や福祉現場でもAIやロボットの活躍が予想される。そのような時代に応じた医療福祉スタッフに求められる資質や能力などを明確にし、教育内容や学生指導にも組み入れていく必要がある。

③ 特記事項

特になし。

(2). 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	②	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	③	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

ホームページのブログや SNS を通して学校の情報を発信したが、保護者や関係者等にどの程度周知できているか不明なところもあった。

② 今後の改善方策

組織が不安定にならないよう計画的な採用や適切な労務管理を行う。

教育活動に関する積極的な情報公開の実施と IT 化の推進により業務の効率化を図る。

ホームページ等だけでなく、保護者や関係者にも学校の様子が理解できるよう動画サイトや SNS の活用を行う。

③ 特記事項

特になし。

(3). 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
-------------------------	---	---	---	---

① 課題

最先端の医療福祉業界について理解を深める研修が不足している。

実習などにより外部関係者の学生に対する評価は得られているが、体系的なフィードバックが不十分である。

② 今後の改善方策

実習先や就職先のネットワークを強化し、臨床の現場で必要な知識や技術などを教育に取り入れるシステムを構築する。

多様化する学生のニーズを把握し、適切な教育支援、学生支援をきめ細かく行える体制を整える。

③ 特記事項

特になし。

(4). 学修成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

① 課題

国家試験合格率が全国平均を下回る学科もある。
卒業生をフォローアップする仕組みがない。

② 今後の改善方策

国家試験対策、各種検定対策を強化し、国家試験合格率の向上に努める。
卒業生とのネットワークを構築し、同窓会や卒後研修を実施することで卒業生の活躍を把握できる仕組みを整える。

③ 特記事項

特になし。

(5). 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・ 職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

社会人のニーズを含め、多様化する学生のニーズが把握できていない。

② 今後の改善方策

教育指導や就職支援だけでなく、学生生活や経済的な相談などについて個別に対応できる仕組みを構築する。

社会人のニーズを把握し、教育内容の充実に繋げる。

③ 特記事項

特になし。

(6). 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

設備や実習用機器等が経年劣化している。

② 今後の改善方策

最先端の教育用機器・備品を整え、充実した教育環境を整える。

③ 特記事項

特になし。

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

① 課題

募集広告や学校ガイダンス、会場ガイダンスの参加だけでは不十分である。

社会人、留学生も含め、本校の教育内容の理解と周知が求められる。

② 今後の改善方策

学納金は、前期・後期毎の納入が可能となるよう学則を整備する。

SNS の活用や個別見学の対応等、きめ細かい広報活動を行う。

③ 特記事項

特になし。

(8). 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 ③ 2 1

① 課題

安定した財務内容となっているが、今後の厳しい募集状況をふまえ、新規事業も含め、中長期的な経営戦略を策定する必要がある。

② 今後の改善方策

大きく学納金に頼る財務状況となっているが、その他の事業活動も検討し収入の安定化を図る。また、社会人や留学生を大きな募集対象者として捉え、入学者数の増加を図る。

③ 特記事項

特になし。

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

① 課題

自己評価の結果をホームページ等で公開ができていない。

② 今後の改善方策

今年度よりホームページへの公開を行う。

③ 特記事項

特になし。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

学生のボランティア参加者数が年々減少している。

② 今後の改善方策

ボランティアに対する意義を伝え、自ら積極的に参加するよう促す。

地域に根差した学校となるよう、公開講座等を行い地域住民が参加できるような仕組みを整える。

③ 特記事項

特になし。

(11). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持っているか	4 3 2 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 2 1

① 課題

留学生の受け入れができていない。

② 今後の改善方策

留学生を受け入れた場合の課題や問題点を洗い出し、教育だけでなく日本での生活のサポートもできるように受け入れる準備を整える。

③ 特記事項

特になし。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校自己評価を行うことで、客観的に学校の活動内容を確認することができる。地域社会に根付いた学校としていくためには、学生や教職員だけでなく、様々な関係者との連携や協力が不可欠である。そのような関係者に向けても、より具体的な学校の情報を公開していくことで理解を深めていくことになるため、今後はより一層の具体的な内容を記載できるよう努めて参りたい。

学校の運営は、教育活動、募集活動、法人の運営に分けられる。教育活動については、学園全体の教育目標や育成人材像を各学科でより明確にし、進化する医療福祉業界に対応できる人材の育成に努めていくことが必要となる。今後は、ロボットやAIが医療福祉分野においても広く普及してくると思われ、そのような時代に対応できる人材を育成していくことが求められる。また、少子化や大学進学率の向上により、募集活動が厳しくなる中で、SNSや動画サイト等も活用しながら多面的な募集活動を行っていく必要がある。他校との差別化を図り、広く情報提供を行っていくことで募集活動を強化する。法人運営については、安定的な財務状況を維持し学校事務システムの適切な運用を図り、安定的な運営を継続していくことが必要である。